

ベルマーク新聞 8月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

みんなで一輪車に乗ろう！

へき地支援、熊本&兵庫で今年度の教室スタート



- ① 団体技の練習 (母子小)
- ② 手をつないで回転、その後逆回転 (大野小)
- ③ 姿勢が大事 (黒肥地小柳野分校)
- ④ 表現演技で決めポーズ(母子小)
- ⑤ 4人で頑張りました (黒肥地小柳野分校)
- ⑥ 練習を終えて (大野小)

へき地校への支援を進めているベルマーク財団では、今年度も5県7校で一輪車講習会を実施します。7月には熊本県と兵庫県の3校で講習がありました。講師はいずれも、国内外の競技会で優勝や上位入賞経験が多数ある鈴木奈菜さんと須郷(すごう)真弥さんです。

熊本県多良木町立黒肥地小学校柳野分校

90年を超す歴史を持ち、数十人の生徒を抱えていた時期もある分校ですが、今の児童数は各学年1人ずつの計4人。それでも全学年に児童がそろうのは7年ぶりだとのこと。教職員3人をあわせても7人という家庭的な雰囲気分校です。

まずは一輪車を調整します。サドルの高さはおへそ位置。意外に高いです。それから、個々のレベルにあわせた練習。本校からかけつけた安達貴美子校長も見守る中、1年生の中村愛斗(まなと)く

んは壁を支えにし、まずちゃんと乗ることに一生懸命。2年生の源嶋良(げじま・つかさ)くんも頑張ります。3年生の坂井涼真くんは「横乗り」という技にも挑戦。4年生の川口礼沙(あやさ)さんは、一人で長く走れるようになりました。

講習を終え、こどもたちは「きつかった」「でも楽しかった」「教えてもらったことを忘れないように頑張る」と前向き。鈴木さんは「あきらめない気持ちを持って、たくさん練習してください」と励ましていました。

熊本県芦北町立大野小学校

児童数は41人で、へき地としては多め。創立は明治8年で140年の歴史があります。敷地が29000㎡もあり、ムササビが住む通称「忍者の森」が校庭から見えます。土地の名産は大関米というブランド米で、とてもおいしいそうです。渡邊容子校長が「お二人は夢をかな

えた人です」と講師を紹介し、「みんなも汗をかいて頑張るようになりましょう」とあいさつ。模範演技には「すごーいっ！」と大きな声が響き渡り、「きょうはみんな反応がいいね」と鈴木さん。

乗れる子と初心者に分かれ、それぞれ練習に励みます。先生の一人も初心者に交じって挑戦していましたが、なかなかうまく乗れない様子。一方、二人で手をつないで回転し、さっと向きを変えて今度は逆回転する乗り方ができるようになったペアも出てきました。練習を終えると、3、4年生の代表が「むつかしかったけれど一生懸命やりました、ありがとうございました」とあいさつしました。

兵庫県三田市立母子(もうし)小学校

児童数16人の同校ですが、子どもたちの体力や精神力、強い絆を育もうと、1991年から一輪車運動を続けています。全校生が一輪車で一つの物語を演技

する「表現運動」にも毎年取り組んでいます。

今年挑戦している「リメンバー・ミー」を披露したところ、学校の先生たちが「いままでで最高」と驚くほどの出来栄でしたが、講師の二人からは「できる力を持っているのに、練習で出し切っていないのでは」「技だけに集中するのではなく、観客にどう見えているのかということ意識して、表現力をもっと磨こう」との厳しい指摘が。指先にまで気を配ってしっかりと手を上げ下げする▽足のつま先の方でペダルをこぐ▽まっすぐ前を向いて走る——という基本をあらためて習い、みんなで練習しました。

小山浩和校長は「講習会は子どもたちにとって、とてもいい刺激になりました。これからどんな風に成長していくのか楽しみです」と話していました。

「西日本豪雨」被災校に支援を

ベルマーク「友愛援助」&ウェブベルマーク

西日本を中心とした7月の豪雨は、死者200人を超える大災害となりました。被災した学校を支援するため、ベルマーク教育助成財団は、緊急の友愛援助を募集しています。

友愛援助は、自分たちが持っているベルマーク預金を使って、援助資金を直接寄付することができる仕組みです。今回の豪雨では、浸水被害を受けたり、校舎が避難所として使われたりして、休校を余儀なくされた学校も多く、また自宅が被災して学用品を失った子どもたちもいます。厳しい環境に置かれた子どもたちに、どうか

温かい支援の手を差し伸べてください。

協力していただける学校・団体は、財団ホームページの「ダウンロード」→「各種申込書」にある申請書に必要な事項を記入して財団までお寄せ下さい。今年12月末まで受け付けます。

また、一般社団法人ウェブベルマーク協会も西日本豪雨被災校への緊急支援活動を始めています。

ウェブベルマークのホームページを経由してネットショッピングをすると、東日本大震災被災校への支援が



ネットのお買い物も、学校の支援になる。
Web Bellmark

でき、同時に自分が指定した学校にもベルマーク点数がたまる——これがウェブベルマークの仕組みです。その学校指定機能に「西日本豪雨支援」という項目が追加されました。「広島市」「倉敷市」「宇和島市」の各小学校を検索すると、リストの最後に出てきます。マイページ登録時にこの項目を選ぶと、支援金はベルマーク財団に助成され、被災校全体のために使われます。すでにマイページ登録をしている方は「登録情報変更」から同様に「西日本豪雨支援」を選択してください。今年12月まで受付予定です。